

2010年度

科目名	教育社会学			
担当教員	開沼 太郎			
配当	教福3		コード	24380
開期	前期	講時	火曜日4限	単位数
				4
授業テーマ	教育事象を社会学的な手法を用いて明らかにする教育社会学の基礎概念や学問的性格の理解をもとに、社会制度や個人の経験が教育制度やその成果に与える影響について学習する。			
目的と概要	教育社会学の基礎概念について、学説や統計資料をもとに理解を深めながら、教育の課題や可能性、限界について理論的・実践的検討を行う。同時に、昨今の教育改革や「いじめ」や「不登校」、「学歴」や「ジェンダー」、「メディア」などの諸側面に見られる学校教育現場の課題を確認しながら、今日の家庭や学校、地域社会を取り巻く教育環境と現実に見られる諸問題を検討し、教育社会学の課題を考察する。			
成績評価法	学期末レポート:40%程度、平常点(小テスト・小レポート・小論文・グループ発表・集団討論など):60%程度を目安に総合評価を実施する。			
テキスト	講義時に指示する。 必要に応じて配付資料やオンライン資料などを利用する。			
参考書	講義時に適宜指示する。			
履修に当たっての注意・助言	社会学は「ことば」の学問である。単に講義を聴くだけでなく、討論やレポート・小論文作成、データ分析などの課題を通じて、これまでの社会生活で積み重ねてきた「常識」や「先入観」について異なる視点を持てるよう、常に参加意識を持つことが履修の条件である。			
講義計画				
(01) ガイダンス (本講義の概要) (02) 教育社会学とは? (03) 教育社会学の研究手法 (04) 学校教育の諸課題① いじめ (05) 学校教育の諸課題② 不登校 (06) 学校教育の諸課題③ 少年犯罪 (07) 学校教育の諸課題④ 学力低下 (08) 学校教育の諸課題⑤ 少子高齢化・核家族化 (09) 学校教育の諸課題⑥ ジェンダー (10) 学校教育の諸課題⑦ メディア (ICT) (11) 学校の機能・役割① 選抜と配分 (11) 学校の機能・役割② 学歴と階層社会 (12) 学校の機能・役割③ 集団性と社会性 (13) 学校の機能・役割④ ルールとモラル (14) 大衆文化と教育 (15) まとめ (本講義のまとめ)				